

## 授業等における生徒の事故防止に向けた取り組み

墨田区立竪川中学校

教科	事故等の防止に向けた取組み(配慮事項)
理科	<ul style="list-style-type: none"> <li>・理科室で実験を行う際に、プリントや動画を用いて実験全体の流れを説明しながら安全上の注意点を確認する。</li> <li>・火傷防止のための手袋、保護メガネの着用、十分な換気を行う。</li> <li>・転倒による薬品の飛散防止のため、椅子を机の下にしまわせるとともに、薬品類はトレーに入れて持ち運ばせる。</li> <li>・班の役割分担を確認させるとともに、教員が机間巡視を行い安全管理を行う。</li> <li>・特別支援学級の実験では、各班に介助員を配置し活動を補助する。</li> </ul>
音楽	<ul style="list-style-type: none"> <li>・合唱におけるパート練習等の自主的な活動は、音楽室内の教員の目が届く範囲内で行わせる。</li> <li>・休み時間等は施錠し、生徒が立ち入れないようにする。</li> <li>・合唱練習で放課後等に使用する場合は、必ず教員を立合わせる。</li> </ul>
美術	<ul style="list-style-type: none"> <li>・刃物類は使用する前後で数を点検する。出席番号を付けておくことで、使用者を明確にする。</li> <li>・塗料類の使用に際して、換気や保管・管理を確実にを行う。</li> </ul>
保体	<ul style="list-style-type: none"> <li>・単元毎に発生しやすい怪我とその要因について説明する。</li> <li>・用器具の正しい使用方法や管理の方法を説明する。</li> <li>・授業開始時に本時の目標や流れを明示し、生徒が見通しをもって参加できるようにする。</li> <li>・準備運動や単元(種目)に応じた補助運動を行い、心身を運動に慣れさせる。</li> <li>・生徒の技能レベルに応じた段階的な課題を設定する。</li> <li>・気候に応じた水分補給の指示を出す。</li> </ul>
技術	<ul style="list-style-type: none"> <li>・危険が予想される工具や道具を使用する際は、口頭での注意を行う。</li> <li>・ロイロノートの資料箱に工具の使用法の動画(示範)を掲載し、自宅での復習に取り組むことができる環境を整えている。</li> <li>・特別支援学級の実習では介助員が入り補助を行う。</li> </ul>
家庭	<ul style="list-style-type: none"> <li>・実習前に火傷や怪我の防止のための用具の正しい使用方法や注意喚起を行う。</li> <li>・調理実習では支援員や栄養教諭が補助に入り、安全管理を行う。</li> </ul>